公民館だより編集委員会ってこんな感じ!!

毎月、発行されている公民館だより・交流センターだより。市内では、南畑公民館のほか、鶴瀬、水谷、水谷東の３公民館と、西交流センターで発行されています。
年に一度、編集委員さんが一堂に会して、合同研修会・交流会が実施されています。今回は、２月16日に南畑公民館で行われたこの研修会の模様について、ご紹介します。
（担当／新井博海、野本巳智子、大澤敦子、三塚好江、新井紀子、加藤和代、武井香代子）

毎号の公民館だより、交流センターだよりの中で、編集委員がひときわ力を入れて作っている特集ページ。

特集は、各館・センターの編集委員会が中心となって企画・取材・校正などを行っています。

題材探しから始まり、記事にまとめて、タイトルをつけるなど、記事が作られるまでには、さまざまな苦労があります。

研修会では、編集委員会の状況や特集ページの作り方など、各編集長さんから発表がありました。

特集の視点

Q　日頃からどのような点を心掛けて編集作業に取り組んでいますか？

南畑公民館
地域の人と人との出会いや交流が図れるように、また読んでためになるような内容にしていきたいと思っています。

鶴瀬公民館
公民館のない自治体もある中で、公民館の果たす役割とは何かを考えています。また、以前は読者からのお手紙や感想をシリーズで紹介していましたが、そのような声を大切にしていきたいと思っています。

水谷公民館
地域を知るきっかけとなるような内容を心掛けています。

水谷東公民館
水谷東は４町会ありますが、地域が狭いので、町会の顔が見える記事を心掛けています。

西交流センター
地域に住む人と人とが特集記事をとおして会話のきっかけになればいいと思っています。

題材の見つけ方

Q　どんなところから特集の題材を見つけていますか？

南畑公民館
1月号の成人式や10月号の公民館サークル公開月間など、月によっては、毎年同じテーマを取り上げています。それ以外の月は、季節などを考えて話題になっているものを取り上げたり、地域に密着した内容を題材としたりしています。

鶴瀬公民館
地域から題材を求めています。編集委員に子育て世代の方がいないので学校関係の内容が少ないです。

水谷公民館
講演会が多いので、そこからヒントを得たり、フリートークの中から題材を見つけています。

水谷東公民館
水谷東小が市の防災教育モデル校に指定されましたが、防災教育の関係や公民館や地域で行われているお祭りから題材を選ぶことが多いです。

西交流センター
雑談を楽しみに編集会議に参加しています。題材もその中から見つけることが多いです。目線に気を付けて、多くの人の共感を得られるような、気軽に話題にしてもらえるような内容を選ぶようにしています。

近隣市町の公民館だより発行事情

入間地区のなかにある富士見市、川越市、狭山市、所沢市、入間市、鶴ヶ島市、飯能市、坂戸市、ふじみ野市、日高市、越生町、毛呂山町、三芳町の13市町（人口約150万人）には、公民館が101館あります。
その中で、市民の方が編集委員となって、公民館だよりを編集・発行している公民館は6館です。富士見市はそのうち４館を占めています。

アピールポイントなど

Q　「だより」の目玉や編集委員会の特徴は？

南畑公民館
ページ数は８ページで他館で発行している「だより」の倍の分量です。幼稚園児から高齢者の方まで、幅広い年代の方を紹介していますが、地域の皆さんの協力があって作られていると感じます。
また、渋谷一夫さんの執筆による「ふるさとの今昔」も既に２００回を突破し、南畑の昔を知る貴重な資料にもなっています。

鶴瀬公民館
表紙の「わがまち点描」も編集委員で作成していますが、読者からさまざまな反響があります。人数も少なく、若い編集委員さんがいた時期もありましたが、現在は年代が上の方で占めています。２班体制で作業を行っており、他の班からのいいチェックがあります。

水谷公民館
若いお母さんが編集委員に加わり、小中学校への取材もしやすくなりました。パソコン入力による編集作業を委員が行うこともあります。

水谷東公民館
月３回の会議を行っています。公民館だよりのレイアウトをパソコンソフトにやっていただけることになり、「だより」を通して新たな人とのつながりができました。防災関係の企画・編集を通して相馬市との交流も行われました。

西交流センター
写真をたくさん載せています。どうしても発信するのみで、一方通行になりがちです。双方向にするにはどうすればよいか考えているところです。

平成25年3月現在

	創刊	毎月の発行部数	年間発行回数	発行号数	編集委員人数（男・女）
南畑公民館	1975.10.1	1,650	10	438	13（5 ・ 8）
鶴瀬公民館	1976.9.1	17,700	10	407	6（5 ・ 1）
水谷公民館	1979.8.1	13,790	10	378	7（4 ・ 3）
水谷東公民館	1979.7.1	2,900	12	385	9（3 ・ 6）
西交流センター	2005.12.1	9,700	10	80	9（6 ・ 3）

取材をおえて

合同研修会には32人の方が参加しました。南畑公民館からは編集委員７人と「ふるさとの今昔」に寄稿を頂いている渋谷一夫さん、そして木村館長、担当職員が参加しました。

交流会では、個人情報の保護が求められているなかで、特集の組み方や取材の進め方など、どう対応しているかについても意見交換がされました。

どの「たより」も地域の方々の協力がなければ作れませんが、一方通行にならないよう気をつけなければとの思いを新たにしました。

「公民館だより」について興味をお持ちの方、地域のことを知りたいと思っている方、一緒に会議へ参加してみませんか。詳しくは、公民館までお問い合わせください。